

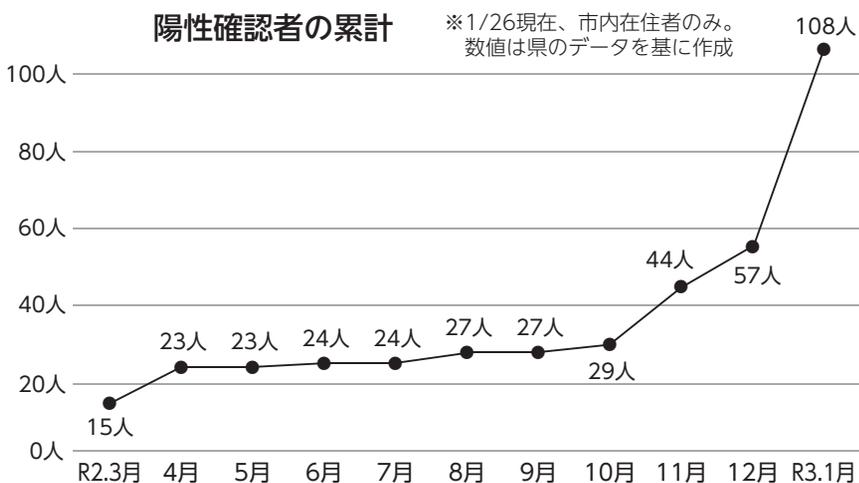
広報 香取

Public Relations Katori

おしらせ版①

市内初クラスター発生 引き続き感染対策の徹底を

市内では冬季に入り一段と感染者数が増えました。また、国内では感染力が従来より高いといわれている変異株の感染者が確認されました。市民の皆さんには引き続き、手洗い・うがい・マスクの正しい着用、感染リスクの高まる場面を避けるなど、今一度、基本に立ち返って感染対策をお願いします。



市内でクラスターが発生

●市内事業所で6人のクラスター

県は1月22日、新型コロナウイルスの調査をしている中で、市内居住の陽性者のうち6人が同一の事業所に勤務していたと発表しました。香取保健所では現在、当該事業所の協力を得て、検査の実施や感染拡大防止に向けた指導などを行っています。

●香取農業事務所で10人のクラスター

県は1月24日、香取農業事務所(佐原駅北口の香取合同庁舎内)で新型コロナウイルスのクラスター(感染者集団)が発生したと発表しました。これまでに県職員2人が感染していました。また、新たに20代〜60代の県職員7人と

施設の一部利用制限を継続

市では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が解除になるまで、施設の利用時間の短縮や一部利用制限などを行っています。内容は、前号(1月16日発行第10号)でお知らせした通りです。

また、市ホームページでも施設の利用状況一覧を掲載しています。施設ごとの詳細は、各担当部署にお問い合わせください。



▲詳細はコチラ

市内の発生状況の推移

左上のグラフは、市内居住者で陽性が確認された人数の推移を、令和2年3月から現在まで、月ごとにまとめたものです。市内居住者で陽性と確認された人の累計が1月23日に1000人を超えました。昨年の夏から秋にかけて落ち着いていたものの、月別の感染者数は、11月は15人、12月は13人、1月は51人で、冬季になってから大幅に増加しています。なお、県は居住地域など、個人情報公表していません。

健康づくり課

☎(50)1235

健康づくり課

☎(50)1235

農政課

☎(50)1258

感染リスクが高まる 5つの場面

最近の急速な感染の広がり、職場や学校などで、マスクをはずして会話する場面、いわゆる会食や休憩室、更衣室などにおける感染がきっかけとなり、家庭や別の職場へ感染が広がっていることが分かってきています。

1 飲酒を伴う懇親会など

2 大人数や長時間に及ぶ飲食

◇飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍くなり、大きな声になりやすい。
◇特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
◇回し飲みや箸などの共用で感染リスクが高まる。



◇長時間に及ぶ飲食、接待に伴う飲食、深夜のはしご酒は、短時間の食事よりも感染リスクが高まる。
◇大人数、例えば5人以上の飲食は、大声になり飛まつが飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



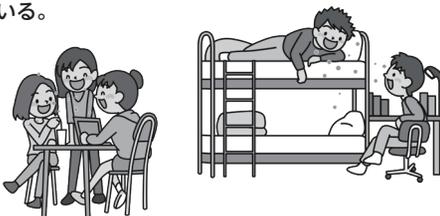
3 マスクなしでの会話

◇マスクなしに近距離で会話することで、飛まつ・マイクロ飛まつ感染での感染リスクが高まる。
◇マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
◇車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



4 狭い空間での共同生活

◇狭い空間での共同生活は、長期間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
◇寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が確認されている。



5 居場所の切り替わり

◇仕事の休憩時間など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることある。
◇休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

